

中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

池田工業高等学校

風雨の日山協第8回山岳スキー日本選手権

4月第1週の週末を前に、天気予報では、土日には爆弾低気圧が来襲するとしきりに報じていた。そんな状況の中、最も悪天が予想される4月7日(日)に予定されている日山協の山岳スキー日本選手権大会をどうするか、僕は日山協の山岳スキー担当の笹生博夫さんと澤田実さん、大宮求さんとともに、長山協の担当者として前々日の金曜日の朝から栂池高原で案じていた。今年で9年目(一昨年の地震による中断があるので大会開催としては8回目)を迎えるこの大会は、栂池高原スキー場最上部の栂の森をスタート・ゴールとし、天狗原や鶴峰方面をフィールドに行う国内では唯一の大会である。アジア選手権も兼ねているため、毎年国内選手ばかりでなく中国・韓国の選手も参加するというそれなりの大会である。長山協は第1回大会から役員として裏方に徹しながら、この大会には一役買って来た。この時期のバックカントリーゆえ、これまでも悩ましい大会運営が何度かあった。しかし、これほどの悪天が事前に報じられたのは初めてのことだった。

いくら天気は水物とはいえ、山岳協会が主催する「大会」を、テレビや新聞が数日前から「無用な外出は避けてください」と報じている中で開催するのは、リスクが大きすぎる。我々4人は、「もし仮に開催するとしても安全確保がされているスキー場ゲレンデ内で行うこととし、最悪の場合は中止でも仕方なかろう」と衆議一決。もともと今日は下見とコース作りのために集まっているので、新たにゲレンデ内を利用したコースの原案を立てた上で、ゲレンデに出た。今日はまだ、嵐の前の静けさともいような穏やかで真っ青な空の下、白馬乗鞍はくっきりと見え、白馬三山から五龍まで素晴らしい景色が広がっている。願わくは今日が大会であったなら……。ちょっと上まで登ってきたいという欲求を抑えながら、4月の平日ゆえ滑る人もほとんどいないゲレンデを一回りし、コースを設定した。

雨と風は土曜日の午後から降り始め、大会当日もやむ気配はない。TDの降籬義道氏に長山協会長で副実行委員長の宮本義彦氏も交えてギリギリまで検討した結果、寒気の入込みもあり落雷の恐れもあるということに鑑みて、尾根を使うのはやめたほうがよいだろうと、さらにコースを縮小した上での大会実施に踏み切った。降雨の中でのスタート。案の定、スタートして40分後くらいして雷鳴が轟きはじめた。最上部の役員と無線で連絡をとりながら、万が一に備える。幸いにも雷雲が栂池スキー場にかかることはなかったが、それでも50名以上の選手が競技に全力を尽くしている。寒い雨に打たれ、寒風に吹かれながら、これまた50名近くの役員が競技運営にあたっている。そんな中、トップの選手が入ってきた。やがて、雷雲は去り、西の空には急速に青空が広がってきた。まだ予断は許さないが、次々と選手もゴールし、無線機を握って指示を出す私にも余裕が出てきた。最終の選手がゴールし、すべての役員に撤収の連絡をし終わったのは、12時前だった。トップ選手の中には、縮小したコースに対する不満もあったようだが、しかし、無事に終わってこそその大会である。ずいぶん緊張を強いられる大会運営だったが、

高体連の県大会などにおいても同じようなことは考えられる。口で言うは易いが、日ごろから安全登山の啓発を謳っている団体として、結果オーライというだけでは片づけられないものがあることも承知している。多くを学ぶことのできる大会運営であった。協力してくださった皆さんに心から感謝を申し上げたい。

3人の新入部員を迎えて

今年は、平年並み3名の1年生を迎え、新たな池工山岳部が発足した。鉄は熱いうちに打てと、早速20日、21日の両日恒例の焼き肉歓迎キャンプを実施した。場所は池田町東に広がる大峰高原のキャンプ場。

ところが、この日もまた猛烈な寒気が入り込み、夕刻からなんと時ならぬ雪が降り出した。しかし、雪何するものぞ、焼き肉を前にした若者たちには大きな障害ではない。ブルーシートで屋根掛けをすると、用意した7kgの肉と15人前の焼きそばに舌鼓。その後はたき火を囲み暖をとりながら、降りしきる雪の中での肝試し。朝起きると、一面の雪景色、10cm近い雪があたりを覆っていた。一年生にとっては、いきなり雪の中でのキャンプとはびっくりだったろうが、これもきっと思い出に残ることだろう。

今年度の池工山岳部は、総勢15名でのスタートとなった。冬場少しテンションが下がっていたが、改めて建て直して、今年もたくさんの方に一緒に登山したいものである。今回は5月連休後に針ノ木で行われる山岳総合センターの高校登山研修会。これもまた一年生にとっては、驚きだろうが、山に魅力を感じて入部して来てくれた虎の子の一年生である。上手に育てていきたいものである。

今年の各種大会、研修会等の予定（中信版）

長野県の中信地区を中心にした今年度の各種大会、講習会等の予定がほぼ固まってきましたので、紹介します。（この通信はもともと中信地区の顧問向けに始めたものなので、その趣旨に則って、敢えて中信に拘りますが、ご容赦を。）各校の年間計画を立てる際の参考にさせていただければと思います。

①登山大会

県大会（インターハイ予選）	5月30日-6月1日	金峰山（川上村）
北信越大会	6月14日-16日	経ヶ岳（福井県）
全国大会（インターハイ）	8月2日-6日	くじゅう山系（大分県）
中信新人体育大会	9月20日-21日	木祖村こだまの森・王滝村御嶽

②国体・クライミング関連

長野県クライミング大会	6月16日	ちゃんめろウォール（小谷村）
北信越国民体育大会	7月27日-28日	妙高アウトドアスクール（新潟県）
JOC Jr オリンピックカップ	8月10日-11日	南砺市（富山県）
第68回国民体育大会	10月4日-6日	東京都東久留米市
全国高校選抜スポーツクライミング大会	12月22日-23日	埼玉県加須

③研修等

山岳総合センター高校登山研修会	5月11日-12日
山岳総合センター高校クライミング研修会	9月7日-8日
中信安全登山研究会・中信高体連 登山技術研修交流会	10月25日-26日